

(令和2年1月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	1月の総入荷量は、一部の品目において曇雨天の影響等により入荷が減少したものの、全体的には暖冬で生育が進んだこともあり前年同月並みであった。総取扱金額は、需要低迷や品質低下の影響等により13%下回った。 2月は、近郷野菜では、かぶや丸だいこん等の漬物商材が終盤に差し掛かり、はたけ菜が最盛期を迎える。果実では、伊予かんやはっさくが最盛期を迎え、不知火や文旦が増加する。いちご類も前月に引き続き増加傾向となる。 暖冬の影響により生育は前進傾向で潤沢な入荷が予想され、前年と同様に価格は平年を下回る見込みである。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月並みであったが、単価は多くの品目で需要が低かったため8%下回った。 根菜類の入荷量は暖冬の影響により潤沢な入荷となった前年同月に比べ5%下回ったが、単価は鍋物需要が低調だったため4%下回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で10%上回り、単価は13%下回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は5%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で8%上回り、単価は22%下回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月並みであったが、単価は品質低下の影響等により3%下回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は品質低下の影響により20%下回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は9%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で26%下回り、単価は29%上回った。

	メロン類の入荷量は前年同月比で１１％下回り、単価は１７％上 回った。
--	---

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	徳島，長崎を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で7％下回ったが，単価は前年同月並みであった。
西洋にんじん	鹿児島，長崎を中心熊本，鳥取，愛知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9％上回り，単価は4％下回った。
【葉菜類】 はくさい	兵庫を中心に鹿児島，宮崎，滋賀，岡山などからも入荷した。入荷量は暖冬の影響により生育が進み大玉傾向となったため前年同月比で3％上回ったが，単価は21％上回った。
キャベツ	愛知を中心に兵庫，鹿児島，滋賀，京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で19％上回り，単価は33％下回った。
ほうれんそう	福岡，京都を中心に鳥取，茨城，群馬などからも入荷した。入荷量は前年同月比で5％下回り，単価は4％上回った。
レタス	長崎，兵庫，徳島を中心に熊本，愛媛などからも入荷した。入荷量は前年同月比で7％上回り，単価は15％下回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎，高知を中心に滋賀，京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で16％下回り，単価は28％上回った。
なす	高知，岡山，熊本，福岡を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で19％下回り，単価は5％上回った。

とまと	熊本，福岡，京都を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で５％下回り，単価は４％上回った。
ピーマン	宮崎，高知を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で５％上回り，単価は４％下回った。
【土物類】 ばれいしょ （メイクイン含む）	北海道を中心に鹿児島からも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は需要が低かったため２８％下回った。
たまねぎ	北海道を中心に兵庫，静岡，長崎からも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％上回り，単価は３５％下回った。
【その他野菜】 生しいたけ	徳島を中心に岡山，三重，長崎，広島などからも入荷した。入荷量は上旬における一部産地の入荷減少の影響により前年同月比で８％下回ったが，単価は需要が低かったため４％下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山，福岡，大分から入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は品質低下の影響により２９％下回った。
伊予かん	愛媛から入荷した。入荷量は着色不良により入荷が遅れたため前年同月比で１８％下回ったが，単価は需要が低かったため３％下回った。
サン富士	青森，岩手から入荷した。入荷量は前年同月比で１０％下回り，単価は１４％上回った。
王林	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で５８％上回り，単価は１０％下回った。
いちご	福岡，大分，熊本，佐賀，長崎，愛媛などから入荷した。入荷量は前年同月比で２６％下回り，単価は２９％上回った。
アールスメロン	静岡，高知から入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り，単価は１８％上回った。